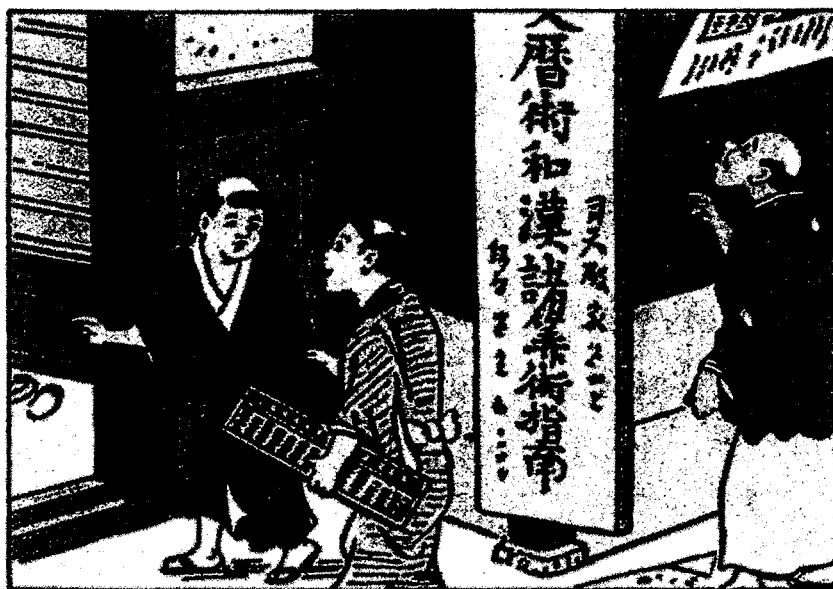


寺子屋がふえはじめた

江戸時代の中頃、享保から文化・文政にかけての頃は、庶民文化が著しく発達した時代で、庶民の教育機関として寺子屋も急速に増加しました。ここでは主に「読み・書き・そろばん」の教育が行われました。



寺子屋とそろばん